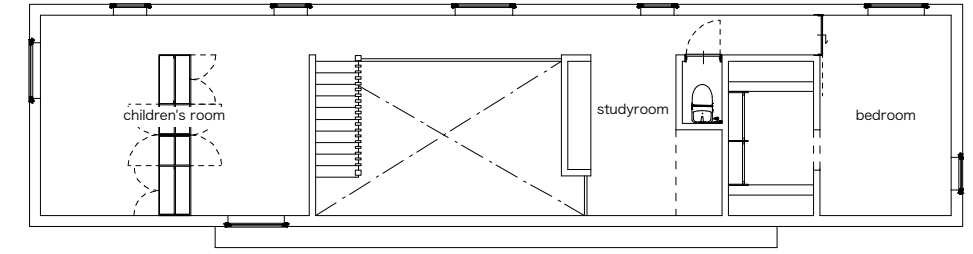
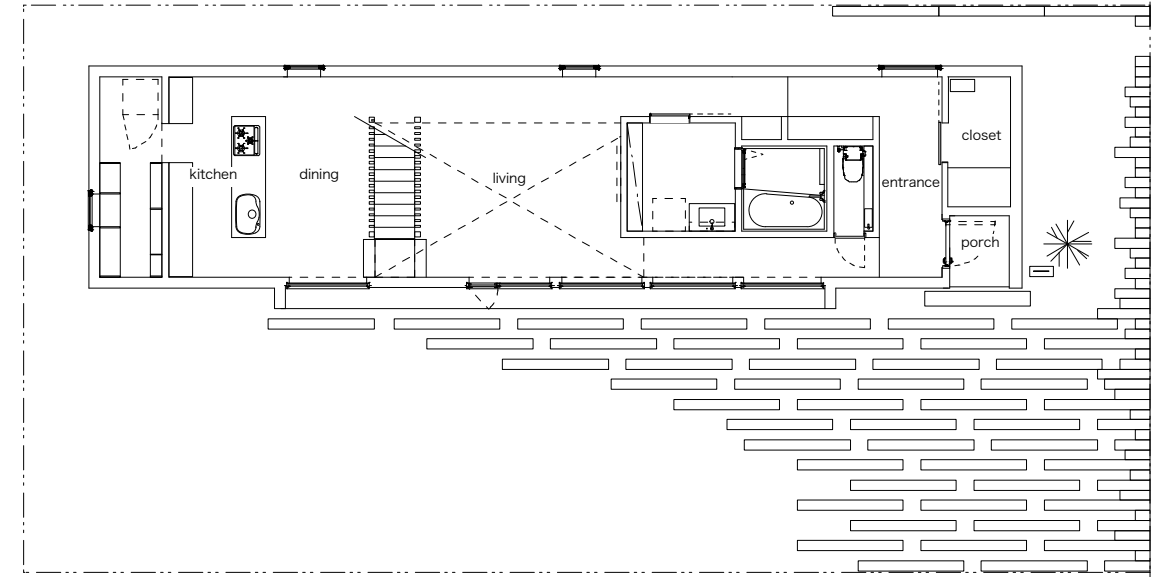


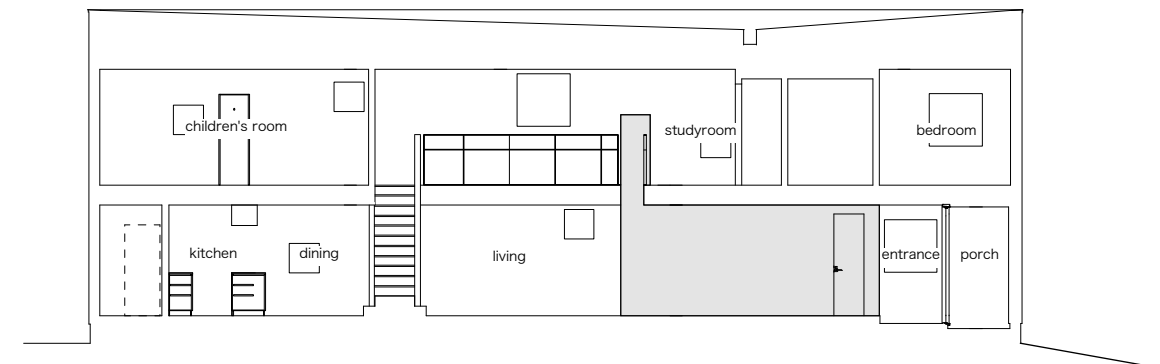
# 代々木町の家



2F S=1/150



1F S=1/150



SECTION S=1/150

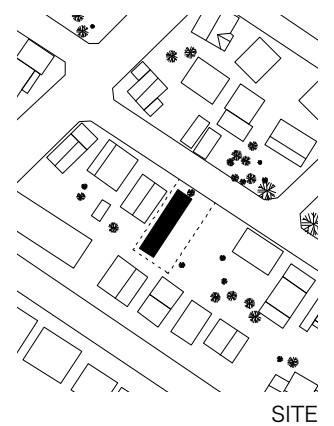
札幌市近郊の市街地に建てられた住宅です。

敷地は閑静な住宅地にあり、東側には大きく開けた隣地の庭と少し離れてアパートと地主の家が並びます。

長辺22m短辺11m敷地全体をどのようにうまく使えるかを念頭に配置計画を考えた際に、近隣の建物と同様に道路面である北側に駐車スペースを確保し南側に庭の場所を確保するという配置ではなく、建物を間口4m奥行18mの細長い形とし西側に寄せ東側に庭を配置する事で庭全体を居間から見る事ができかつ、隣地の庭と連続させて一体的に視覚的に取り込む形を取っています。

また細長い外形により、近隣の建物と被らない位置に窓をつけることができ視線の抜けを作っています。

内部は黒板塗料で仕上げたボックス状の水回り部分や木のルーバーで囲われた階段室を白い内部空間に配置することで分節された空間を居間や各諸室にし仕切り過ぎない事で諸室の境界を曖昧にしより奥行きを感じさせる様にしています。



SITE